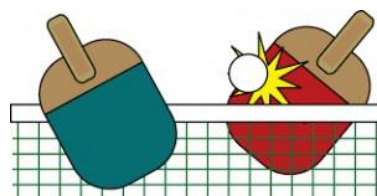




障害者スポーツ春大会 卓球

5月13日(日)、岐阜メモリアルセンターで、障害者スポーツ大会春大会の卓球競技が開かれました。一般の方も交えた大会で、本校からは、高等部6人、中学部1人が出場しました。予選リーグでは、高等部女子のNさんが2勝1敗、中学部男子のOさんが3勝1敗と健闘しましたが、決勝へは進めませんでした。高等部男子のKさんは、部門の関係で対戦相手が1人しかいませんでしたが、しっかり1勝することができました。全員が昨年度よりも力を付けてきていて、最後まであきらめずに試合に臨んでいました。今大会初出場の高等部1年生の女子Oさんも、最初は緊張していましたが、ラリーが続き、もう少しで1セットを奪えそうなくらい頑張りました。



一番よかった点は、午前個人戦でしたが、みんなで応援したり、声を掛け合ったりしていた姿です。チームのまとまりを感じました。送迎、応援にご協力いただいたご家族のみなさまも、ありがとうございました。

一番よかった点は、午前個人戦でしたが、みんなで応援したり、声を掛け合ったりしていた姿です。チームのまとまりを感じました。送迎、応援にご協力いただいたご家族のみなさまも、ありがとうございました。

校門前にある「おじぞうさん」

昨年度の通信にも書きましたが、今年度もお伝えしておきたいと思います。

本校の校門に向かったの坂道の左側に「おじぞうさん」が安置されています。この



おじぞうさんは、H14年、持久走大会中に高等部生徒が倒れ、病院で亡くなられた事故があり、そのことを忘れないようにと、窯業班と一緒に学んでいた生徒や先生達がつくられたものだそうです。おじぞうさんの家は、H25年に台風で破損したため高等部の木工班の生徒が立て直し、昨年度、傷んでいた屋根を職員が張り直しました。

ました。

私は、その由来を知って以来、週に一回お水を替え、安らかに眠りくださいとお祈りをしています。時がたつと、このおじぞうさんの由来もわからなくなってしまうます。昨年度の繰り返しになりますが、再度お伝えをさせていただきました。

